

月ヶ瀬中学校区地域教育協議会

令和6年度 取組報告

中学校区
教育ビジョン

9年間の連続した学びを通じた、自ら学ぼうとする意欲、故郷を誇りにする思い、未来を切り拓く力をもった子どもの育成

取組概要

「アルミ缶回収事業」は、「アルミ缶で車いすを」を合言葉に29年続いている事業で、これまで154台の車いすを寄贈しました。「地域行事参加支援事業」では、地域と学校が合同で主催する「月ヶ瀬体育祭」などの行事を企画・運営しました。「ふるさと学習支援事業」では、尾山万歳や桃香野狂言などの地域にまつわる伝統芸能を継承しました。また、「梅」や「お茶」などの地域を支える産業については、こども園より段階的に学び、たくさんの体験活動を通して食文化や歴史を知り、ふるさと月ヶ瀬を誇りに思う気持ちを育てました。

協議会



事業名：地域行事参加支援事業

●地域と学校が合同で主催する「月ヶ瀬体育祭」では、準備から大会の企画・運営、片づけまで、大人と児童生徒が協力し、みんなで「月ヶ瀬体育祭」を盛り上げました。



事業名：地域活性化プロジェクト事業

●烏梅を使って染める紅花染め体験で7年生が生地や紐を染め、8年生がその生地などを使って、卒業生が卒業式当日に胸に付けるコサージュや合格祈願のお守りを作りました。

月ヶ瀬中学校運営委員会



事業名：アルミ缶回収事業

●毎月1回、ボランティアの協力で回収されたアルミ缶を中学生がつぶし、ボランティアと教員でリサイクルセンターに搬出。収益金で地域の診療所や福祉センターなどに、車いすや福祉機器を寄贈しました。

月ヶ瀬小学校運営委員会



事業名：ふるさと学習支援事業

●毎年5・6年生が地域にまつわる伝統芸能（尾山万歳・桃香野狂言）を地域の方に指導してもらい、その成果を、公民館で行う学習発表会で、地域・保護者に向け発表しました。

月ヶ瀬中学校区地域教育協議会

令和6年度 取組報告

(2ページ目)

月ヶ瀬こども園運営委員会



事業名：地域ふれあい事業

●地域の方々の協力をいただき、茶摘み、茶工場の見学、陶芸体験でつくった茶器でお茶会をして地域の特産物のお茶に親しみました。